

7/24  
3.74

# 感染20万人連日最多

## 17道府県で最多を更新

熊本県でそれぞれ9人が確認されるなど、全国で72人に上りました。

国内では23日、新たに20万975人の新型コロナウイルス感染が確認されました。これまで最も多かった22日の約19万5000人を上回り、4日連続で過去最多を更新しました。1日当たりの新規感染者が20万人を超えたのは初めて。感染の急激な広がりに歯止めがかからない状態が続いています。

↓関連⑩面  
新規感染者は17道府県で過去最多を更新しました。死者は神奈川県、大阪府、

東京都の新規感染者は3万2698人。前週土曜日の1.7倍となり、3日連続で3万人を超えました。愛知県では1万4348人の感染が判明し、1週間前からほぼ倍増しました。大阪府の新規感染者は2万2501人で、前週土曜日の1.8倍に増えました。



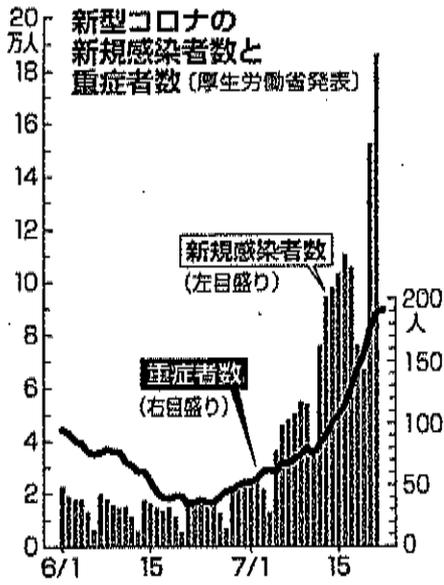
無料PCR検査所を訪れる人たち23日、東京都新宿区(画像を一部加工)

無料・予約不要  
16時までの検体提出で当日結果(追加料金なし)  
無料・予約不要

7/24 3.読

# 重症1カ月で5倍超

## 専門家「B.A.5 軽症は誤り」



新型コロナウイルス感染症の重症者数が急増しています。オミクロン株の派生型「B.A.5」流行に伴う「第7波」により、全国の重症者数は1カ月前の5・3倍になりました。各地で病床逼迫(ひっぱく)が進み、一部では深刻な事態になっています。専門家は「オミクロン株が軽症で済むというのは誤りだ。夏休みになっても感染防止策をしっかりと続けて」と呼び掛けています。

厚生労働省による自治体公表の重症者は6月22日には38人でした。6月末以降の感染者急増に伴い、2週間後に68人、7月22日には191人に増えました。重症者の多くは50代以上ですが、10歳未満の報告もあります。

国立感染症研究所の推計では、国内のオミクロン株はB.A.5にほぼ置き換わりました。主流だったB.A.2より人間の肺で増殖しやすいとの実験結果もありますが、重症化しやすいという知見はありません。

ただ、重症化リスクが同程度でも、感染拡大に伴って重症者数は増えます。「重症者と死者は、感染者急増から遅れて増加する傾向」(厚労省専門家組織)があり、病床逼迫が進むのは確実です。内閣官房によると、都道府県の病床使用率(21日時点)は最も高い沖縄で77%に達し、熊本67%、和歌山65%、滋賀64%に上るなど、一部では既に深刻な状況です。東京と大阪は43%でした。

感染症に詳しい慶応大の菅谷徹夫客員教授は「日本では累積感染者が1000万人を超えたが、自然感染による免疫を持つ割合は約8%にすぎない。欧米の6分の1から3分の1ほどで、圧倒的に少ないと推測される」と指摘。「ワクチン接種による重症化予防効果も弱まっている。夏休みに入っても気を緩めず手洗いやマスク着用などの徹底を続けてほしい」と訴えています。